

あそぶひと 人形と子どもの暮らし

2020年4月22日(木) — 6月14日(日)
目黒区美術館

午前10時—午後6時（入館は午後5時30分まで）

月曜休館（ただし、5月4日(月・祝)は開館し、5月7日(木)は休館）

一般800(600)円／大高生・65歳以上600(500)円、中学生以下無料

- ・障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金
- ・目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示いただくと、団体料金になります（他の割引との併用はできません）。

主催：公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協力：株式会社 アトリエ ニキティキ



概要

子どもたちが、親や身近な大人から与えられ、語りかけて遊ぶ人形やぬいぐるみ。

学生カバンで揺れるキャラクターのマスコット、棚の中のアニメのフィギュア…

わたしたちの身の周りは、人の形をしたもので溢れています。

なかでも、長い時間を共にし、思い入れのある人形は特に、親近感を抱く不思議な存在と言えるのではないのでしょうか。

本展では、アトリエ ニキティキの現代玩具コレクションから、ドイツ・スイスを中心としたヨーロッパの、主に1970年代以降の子ども向けの人形やドールハウスなどを、3つのテーマで紹介します。1. はじめて出会う人形 では、ベビーベッドで長い時間を過ごす乳幼児向けの肌触りの良い人形や、我が子のために人形を作りはじめた女性作家による、子どもの特徴、機微をとらえた愛らしい人形など、100点余りが集合。2. 人形の家（ドールハウス）では、遊ぶために作られた木製のドールハウス10数点を中心に、伝統文化や風俗を示すミニチュアも展示。3. あやつり人形 では、民話や童話の登場人物（キャラクター）を表した指人形、ハンドパペット、マリオネットなどを取り上げます。遊びと暮らしが密接に結びついた子どもの友達である人形を、成長段階に沿って紹介します。同時に、人形の優れたデザイン性や作り手の思いなどについても考察します。さらに展覧会をより深く味わっていただくために、実際に人形に触れるハンズオンや、人形との思い出を描くコーナーも設置します。

小さな人形たちと、じっくりと向き合う時間を過ごすことで、自身の経験を振り返り、彼・彼女らと新たな絆が結ばれることを願っています。

展示構成

1. はじめて出会う人形 — 感覚を養う

子どもの誕生を祝って贈られる人形には、どのようなものがあるでしょうか。最初に紹介するのは、手触りの良い《そら豆人形》(ナンヒェン社/ドイツ)や《オルゴール人形》(プロフオンド社/スイス)などです。これらには、触れる・見る・聞くなど、赤ちゃんの複数の感覚に刺激を与える工夫がなされ、また、赤ちゃんの表情を見る大人も幸せな気持ちになります。続いて、成長した子どもに寄り添う、抱き人形を紹介します。

本章では、我が子のために人形作りを始めた女性作家6人たちの作品に注目し、20世紀前半に活躍したケテ・クルーゼやサーシャ・モルゲンターラー、1970年代以降に人形作りを始めたエリザベス・ポングラッツ、シルヴィア・ナテラらの人形100体余を、ご覧いただきます。

2. 人形の家(ドールハウス) — 家庭での役割を知る

幼児期の子どもたちの想像力や社会性などを養う、おままごと。この遊びに欠かせないのが、家庭での生活を模した人形の家です。本章では、人形の家10数点を紹介します。組み立て式で階数や階段の位置に変化を付けられる《組立式人形の家》(スピールフォーム社/ドイツ)や、子どもたちが同時にどの方向からも遊べるよう、屋根がなく、十字の壁に区切られた《人形の家》(ネフ社/スイス)などには、これに合わせて作られた小さな家具が付属しています。同時に「キリストの聖誕」や「ノアの方舟」といった、ヨーロッパの宗教的な主題によるミニチュアの数々も展示します。

3. あやつり人形 — お話から人形劇へ

指人形・ハンドパペット・マリオンネットなどのあやつり人形は、遊びながら会話を楽しむコミュニケーションツールであり、子どもの言語力や想像力を豊かにしてくれます。本章では、素朴で愛らしい子どもと動物を多数手掛けるベアリング社(スイス)や、木材パルプで作られた頭にユーモラスな表情が特徴的なエリ社(ドイツ)の、あやつり人形を紹介します。本章に登場するキャラクターたちは、日本でもおなじみの「赤ずきん」やスイスの「ウルスリのすず」といった童話などで活躍します。他にも、バラエティに富んだあやつり人形の数々を、お楽しみください。

体験する

●ハンズオン(触れる)コーナー

各種人形や、指人形・ハンドパペットなどに、実際に触れて遊ぶことができるハンズオンコーナーを設置します。

●「みんなでつくる思い出の人形アルバム」(申込不要/参加無料)

期間：展覧会開催中随時

ご自身がお持ちの人形について、会場に設置する用紙にイラストとエピソードを添えて、語ってみませんか。なお、A4サイズまでの用紙に、人形の名前やエピソード、イラストを添え、会場までご持参いただくことも可能です。



① 《シルヴィア・ナテラ陶磁器人形ローズ》2001年
シルヴィア・ナテラ/オーストリア



② 《組立式人形の家》1980年代
スピールフォーム社/ドイツ



③ 《マリオンネット カラス》など1980年代
ベアリング社/スイス



④ 《ハンドパペット「あかずきん」》など1980年代
ベアリング社/スイス

関連催事

① 講演会「ヨーロッパ人形劇の今日の姿」

(申込不要/先着順/聴講無料)

日時：4月25日(土) 14:00-15:30

講師：山口遥子

(ブーク人形劇場/東京藝術大学専門研究員[人形劇史・現代人形劇])

定員：50名

ドイツと日本の人形劇を専門に研究する山口氏に、ヨーロッパ人形劇の最新の状況について、豊富な映像・画像資料を交えてお話し頂きます。

② 人形参観@目黒区美術館

(要申込/先着順/聴講無料)

日時：5月16日(土) (1)14:00-15:00 (2)15:30-16:30

ナビゲーター：菊地浩平(人形文化研究者)

定員：各回20名

早稲田大の学生アンケートで人文科学系学部の2年連続「面白い講義」第1位に選ばれるプログラムを当館でも開催!長い時間を過ごし、思い出の詰まった人形と一緒に来館いただき展示会を観た後、自身の人形について、参加者全員でゆるやかにトークします。

③ 大人のための美術カフェ 特別編

(申込不要/先着順/聴講無料)

日時：6月7日(日) 14:00-15:00

ナビゲーター：沖島博美(旅行作家)

定員：50名

ドイツに詳しい沖島氏から、メルヘン街道の「グリム童話の登場人物」や、子どもが成長しても遊べる人形とぬいぐるみのお話を伺います。

Lecture & Talk



⑤ ≪ケルナスティック≫1920年代～ゲオルグ・ケルナー/ケルナー社/ドイツ

Workshop

④ 遊びの広場1「ガラスに人形を描こう」

(申込不要/参加無料)

日時：4月29日(水・祝)-5月1日(金) 各日13:00-16:00

展示会を観たあと、消せるクレヨン・キットパスで、ガラスに人形を描いてみましょう。

⑤ 遊びの広場2「動く人形をつくろう」

(申込不要/参加無料)

日時：5月3日(日)-5日(火・祝) 各日13:00-16:00

展示会を観た後、木っ端や糸などを使い自由に動く人形を作ってみましょう。

⑥ ワークショップ1「ちいさな部屋から、おうちをつくろう」

(要申込/先着順/参加無料)

日時：5月24日(日) 13:00-16:00

定員：20名

四角い小箱に理想の部屋を作り込み、最後にその部屋をつなげて一つの家に見立てます。

⑦ ワークショップ2「ハンドパペットに触れる」

(要申込/先着順/参加無料)

日時：5月31日(日) 14:00-16:00

定員：20名

アトリエ ニキティキが所蔵する貴重なハンドパペットなどに触れてみましょう。

【お申込方法】

②⑥⑦の催事については、事前申込が必要です。

1. 参加を希望する催事名(②については時間帯も) 2. 氏名 3. 住所 4. 電話番号・ファクス・メールなどの連絡方法を明記の上、次のうち、いずれかの方法でお申し込みください。

メール：当館ウェブサイト申込専用フォームから

ハガキ：〒153-0063 目黒区目黒 2-4-36

目黒区美術館 あそびひと催事係 宛

4月17日(金) 申込開始

*各催事の参加について、高校生以上は当日有効の観覧券が必要。

*各催事の詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

開催情報

タイトル	あそぶひとー人形と子どもの暮らし
会 期	2020年4月22日(水)～6月14日(日)
会 場	目黒区美術館 (東京都目黒区目黒 2-4-36)
開館時間	午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
休 館 日	月曜日(ただし5月4日(月・祝)は開館し、5月7日(木)は休館)
観 覧 料	一般 800(600)円／大高生・65歳以上 600(500)円／中学生以下無料 ※障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金 ※目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示いただくと、団体料金になります(他の割引との併用はできません)。
主 催	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
協 力	株式会社 アトリエ ニキティキ
交通機関	JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線＝目黒駅下車徒歩10分 東急バス＝権之助坂(目黒通り)下車徒歩5分、田道小学校入口(山手通り)下車徒歩3分

広報写真

本リリース掲載の写真画像の一部を本展広報用写真としてご提供いたします。6ページ目にある画像に付した、①～⑧が図版番号です。ご希望の方は、申込用紙(5ページ目)の内容をご確認の上、必要事項をお書き添えいただき、FAXでお申し込みいただくか、同内容を本展担当者宛メールにてお申し込みください。

本展の問い合わせ先

目黒区美術館 展覧会担当(学芸)加藤 / 広報担当(事務)天野
〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36 tel. 03-3714-1201(代) fax. 03-3715-9328
e-mail: mmatoffice@mmat.jp http://www.mmat.jp

宛先：目黒区美術館 [担当] 加藤・天野 宛て
 FAX：03-3715-9328 e-mail：mmatoffice@mmat.jp

■ 本票に必要事項をご記入のうえ、上記宛先まで FAX でお申し込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項とご希望の画像番号をお知らせ下さい。掲載紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

お申し込み日	年 月 日		
御社名			
ご担当者氏名			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
掲示媒体名 (雑誌名など)			
メディアの形態	【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 () 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ()		
発行・放送予定日	年 月 日		
ご希望の画像	図版番号 ①～⑧のご希望の図版番号をご記入ください	使用条件等 *写真画像への文字載せは不可です。 *写真の画像加工(トリミング・色調整など)は不可。但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *キャプション、クレジットは必ず明記してください。	
連絡欄			

■ お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。

■ 使用にあたっては、【広報用画像について】の内容をご了承いただくことが条件となります。必ずご確認くださいませようお願いします。

【広報用画像について】

- ・画像データはメールにて送付いたします。
- ・画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・データを第三者に渡すことは禁止いたします。
- ・使用後、データは破棄してください。
- ・展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。
- ・画像への文字載せは不可です。
- ・画像使用の際は、キャプション、クレジットを明記してください。
- ・掲載誌(紙)は1部、当館担当者までお送りください。
- ・Web サイトは公開後に URL をお知らせください。
- ・当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。

◎ 本展を紹介して下さる媒体には、展覧会の招待券(5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。ご希望の方は下記にご記入ください。
 読者プレゼント用招待券を [希望する ・ しない]

<広報用画像に関する問い合わせ先>

目黒区美術館
 TEL.03-3714-1201 / FAX.03-3715-9328
 展覧会担当(学芸)：加藤
 広報担当(事務)：天野

1



5



2



6



3



7



4



8



- ①《シルヴィア・ナテラ陶磁器人形ローズ》
2001年
シルヴィア・ナテラ/オーストリア
- ②《組立式人形の家》
1980年代
スピールフォーム社/ドイツ
- ③《マリオネット カラス》など
1980年代
ベアリング社/スイス
- ④《ハンドパペット「あかずきん」》など
1980年代
ベアリング社/スイス
- ⑤《ケルナースティック》
1920年代～
ゲオルグ・ケルナー
ケルナー社/ドイツ
- ⑥《ボングラッツ人形 ベビー》
1980年代～
エリザベス・ボングラッツ
ドイツ
- ⑦《指人形家族》
1960-2010年代
ヘアヴィック社/ドイツ
- ⑧《ケテ・クルーゼ人形》
1990-2000年代
ケテ・クルーゼ
ケテ・クルーゼ社/ドイツ